

間伐材等新用途開発促進事業について

1 はじめに

カラマツの間伐材等中小径材は、その用途開発の立ち遅れなどにより、一部が土木用材として使われているのみで、大半は伐りすて等により林内へ放置されています。

そこで、当センターでは間伐材の需要を高めることを目的に、新たに構造用の心持ち柱材、集成材、内装材、家具部材等としての利用途を開発するため、国の「間伐材等新用途開発促進事業」により平成7～8年度に試験研究用の機械施設等を整備しましたので、その概要をお知らせします。

2 整備した機械施設等

名 称	内 容
(1)実大材引張り試験機	…実際使用する大きさの木材の引張り強度を測定します。
(2)実験用ホットプレス	…上下に熱板があり、その間に木材やチップ等をはさんで圧力を掛け圧密木材やボード等を試作します。
(3)多軸モルダー	…5軸の仕上げ刃を持った機械で木材を一回通過させるだけで5面がきれいに仕上がって出てきます。
(4)幅はぎプレス	…幅のせまい板を何枚もつなぎ合わせ幅の広い板を作ります。
(5)実大材圧縮強度試験機	…実際に使用する大きさの木材の圧縮強度と曲げ強度を測定します。
(6)高性能木材乾燥装置	…150℃の高温乾燥が可能な施設で高温処理による木材のねじれ、割れ等の抑制や低コスト化を目指します。
(7)クロスカットソー	…集成材等の大断面の材をカットします。
(8)衝撃曲げ試験機	…木材の衝撃による曲げ強度を測定します。
(9)恒温恒湿装置	…木材をある設定された温度と湿度の中に置き、木材や塗装材等の経時変化を測定します。
(10)自記ひずみ計	…木材に力を加えた時のひずみを測定します。
(11)接触角計	…木材や塗装材等の表面の劣化の状況を測定します。
(12)表面あらさ計	…木材や塗装材等の表面のあらさを測定します。



引張り試験機



ホットプレス



多軸モルダー



幅はぎプレス



高性能木材乾燥装置



クロスカットソー

3 おわりに

今回新たに12種の機械等を整備し、これらの最新の機械でカラマツ心持ち柱材の開発や間伐材の構造用集成材の開発、圧縮成形木材の開発などを進めていきます。成果にご期待ください。

(木材部 馬渡)

間伐材等新用途開発促進事業

— カラマツ材に係る心持ち柱材・住宅用集成材等新たな用途開発 —

